

## 京都府公衆浴場入浴料金審議会（令和4年度）の議事要旨

1 開催日時 令和4年7月26日（火） 午後1時30分から3時まで

2 場所 ルビノ京都堀川 3階 朱雀の間（京都市上京区）

3 出席者 ※一部、リモート参加

【審議会委員】

木下会長、浦辻委員、奥田委員、風間委員、窪田委員、田野委員、中井委員、細井委員、増永委員、吉本委員（計10名、会長以下五十音順）  
（欠席：久保委員、中川委員、松村委員）

【事務局】 山本健康福祉部副部長、丸毛生活衛生課長ほか生活衛生課職員

【オブザーバー】 篠崎京都市医療衛生企画課担当課長

【傍聴者】 1名

【報道機関】 2社

### 4 議事

- (1) 会長の選任について
  - ・委員の互選により木下委員を会長に選出
- (2) 諮問
  - ・知事から審議会に公衆浴場入浴料金統制額の改定について諮問
- (3) 公衆浴場の現況について
  - ・一般公衆浴場数及び一般公衆浴場入浴者数の推移
  - ・入浴料金統制額の推移
  - ・一般公衆浴場に対する助成制度
  - ・令和3年公衆浴場業経営実態調査結果
  - ・利用者アンケート結果

### 5 委員からの主な意見

- (1) 公衆浴場の発展、利用促進等について
  - ・自宅に風呂があっても公衆浴場を利用している人が多い。ふれあいの場として更に広がって欲しい。
  - ・学生の公衆浴場利用は、最近のサウナブームもあり一定数増加していると思われる。
  - ・利用者が減少している現状を打開するのに、サークル活動後の入浴など学生の利用を増やせばよい。
  - ・茶農家と連携した「お茶風呂」を実施するなど集客に努めている。
- (2) 料金改定について
  - ・今後の燃料価格上昇の見通しについて知りたい。次回の会議で最新のデータを反映した資料を作成願う。
  - ・他都道府県の状況、特に長年据え置いている県の理由や直近で料金を改定した大阪府や東京都の議論の内容を知りたい。次回の会議で示していただきたい。
  - ・ウクライナ侵攻等による最近の物価高騰により市民の暮らしに影響がある中で、入浴料金を引き上げにくい状況。
  - ・物価高騰に加え、賃金もアップの方向で、公衆浴場の料金引き上げもやむを得ない。
  - ・今年4月以降も燃料費引き上げは続き、特にガスの上昇率が高い。組合としては、少しでも銭湯を存続させ組合員を守りたい。是非、料金を引き上げて欲しい。
  - ・顧客から感謝されやりがいがある仕事であるが、後継者がいても儲からないから引き継げない。
  - ・過去10年で2回料金改定されているが、廃業が止まらない。他都道府県では、銭湯の全面リニューアルの話しを聞くが、府内の事例はない。